

# 府身協

発行者

一般財団法人  
大阪府身体障害者福祉協会  
会長 中井 悌 治

〒543-0072  
大阪市天王寺区生玉前町5-33  
大阪府障害者社会参加促進  
センター内

TEL 06-6771-3131  
FAX 06-6771-3178  
<http://fushinkyu.or.jp/>



## 新年のごあいさつ

会長 中井 悌 治  
謹んで新年のごあいさつ申し上げます。  
2018年の新春をご健勝にてお迎えのことと、衷心よりお喜び申し上げます。

さて、1981年（昭和56年）

が私たち障害者にとって画期的な年であったこと、記憶にありますか？完全参加と平等をテーマに国連が指定した国際年のひとつ、国際障害者年が制定された年であります。

この国際障害者年を契機に障害者の人権が尊重されるようになり、障害者を取り巻く環境が大きく変わり、近年ではヘルパー制度が充実されることで、社会参加が推奨され、行動範囲も広くなり高齢者も障害者も人間としてノーマルの生活を送ることができるようになりました。

行政に於いても身体障害者福祉の諸施策を始めとして各種福祉事業の充実を努めていただいていることに感謝するとともに一層の充実を期待を寄せる次第です。

しかしながら、障害者問題は各種の法令や行政施策によって全てが解決されるものではありません、障害者自身個々の特質を認識し、それぞれが正しい自覚と強い意欲を持って自ら積極的に社会参加をしなければならぬと考えるものです。

努力する者は希望を語るが、  
怠ける者は不満を語る

という言葉があります。高齢に関係なくいつまでも希望が語れるよう常に努力していきましょう。

差別解消法が施行され、大阪府に於いても差別的解消の推進に関する条例を定め、障害者福祉の充実強化に期待をよせておりましたが直後に神奈川県相模原市の重度障害者入所施設で19人が刺殺され、26人が重軽傷を負うという人の世であってはならない事件が発生し、社会に大きなショックを与えました。同時に改めて障害者差別解消の重要性を痛感したのは私だけではないと思っております。

障害者が感じる差別や社会的障壁に健常者は気付かないことが多く中でありますが、公的機関の責務とは別に障害者が何をして貰うのかではなく、一人一人が障害者として何ができるのかを考え、差別に向き合う勇氣と覚悟を持って生きていくことが障害者差別解消法を生きた法律にしていくことになると思えます。

多くの障害者の尊い命が絶たれましたが、人はどんな立場であっても生きていくことが大切で、障害の有無や個々の能力は関係なく、人の尊厳は命そのものにあることを信じ、お互い力になりあいながら生きていきましょう。

平成29年度大阪府身体障害者福祉大会は、11月23日（祝）、堺市南区の国際障害者交流センター（ビッグ・アイ）において、府内各身障会から550人の参加を得て、盛大に開催されました。  
第1部の式典は、竹田副会長による力強い開会宣言で開幕。物故会員の皆様に黙祷をささげたあと、中井会長の挨拶とともに、開催主管市の高槻市長（代理）による歓迎のことばや来賓の方々から



## 府身協福祉大会開催

激励の祝辞をいただき、その後、大会宣言案、大会決議案が満場一致の拍手により採択されました。

第2部では、恒例のアトラクションとして、民謡・歌謡曲大会本選が行われ、8月の予選会を勝ち抜いた21人が熱唱しました。予選を突破した実力はいずれも甲乙つけがたく、大会場の雰囲気なかでも実力どおりののを堂々と披露し、会場から大きな声援や喝采を受けました。審査委員長から「いずれの実力も甲乙をつけにくく、審査員泣かせ」と講評された審査の結果、優勝は大仲 悟さん(富田林市)、準優勝に川上 日出子さん(泉佐野市)、3位に薩摩 義久さん(守口市)が栄冠に輝きました。

今年の「アトラクション」では、高槻市在住の徳田恵美さんによる津軽三味線の演奏があり、会場に響き渡る力強い津軽三味線の音色にみんな聞き入っていました。

最後は、これも恒例となったラッキーカード抽選会が行われ、当たった幸運な人の満面の笑顔のうちに大会は終了しました。

※福祉大会は、共同募金の助成を受けています。



7回ワッワだより

阪南ブロック

よみがえる泉穴師神社

(泉大津市)



56年ぶりの修復工事が完了しました。

泉穴師神社本社本殿・撰社春日神社本殿・撰社住吉神社本殿はいずれも社殿が国重要文化財に指定されています。

三殿とも屋根は檜皮葺(ひわだぶき)ですが、前回の葺き替えより本殿は35年、春日神社・住吉神社は56年が経過し、著しい破損と社殿の色彩に多くの剥落がみられることから、平成26年から本格的な修理を実施し平成29年3月に完了しました。3年間におよぶ工事の状況と成果をご紹介します。

泉穴師神社の歴史

当神社はおよそ650年頃に建てられたと伝えられている歴史のある神社です。

「穴師」は古語では「あなじ」「なぜ」と言い、戌亥の方角から吹く風、つまり北西風を意味します。船乗りは、「この風が吹くと海が荒れる」と恐れたそうです。神社から海岸までは、かつて「勅使道」と呼ばれた真っ直ぐにのびており、古代に栄えた港(小津の泊)とつながっていたと考えられています。

また、『延喜式』(平安時代中期927年に編纂)に記載されている延喜式内社です。延喜式には、新羅からの使者にふるまう神の酒を作る稲を負擔した神社として記載があり古代において、朝廷に関わりの深い重要な神社だった事が解かります。

褪色した社殿や墓股(かえるまた)・組み物等の飾り部材の彩色については、前回の修理(昭和33年)完了時に戻すことを目標に実施しました。当時のカラー写真は現存しないため、色が剥落した部分は、部材にわずかに残った色を詳細に観察し、また専門家の意見を聞きながら彩色しましたとの事です。

技術的に困難を極めたのは、本

社本殿内外陣境の扉絵と板絵の修復でした。顔料の剥落が激しく、復元が非常に困難な状態でしたが、技術者たちの努力により鮮やかに蘇りました。3年の月日を費やした修復工事により泉大津市が誇る文化財を後世につなげることが出来ました。

☆広報いずみおつより使用。

北摂ブロック

能勢の昔話 (能勢町)

平安時代大江山の鬼退治に行つた源頼光の子頼国が病氣になり能勢の地黄の地に館を建て療養してから代々この地に山城を築き領地としていた。頼光から二十一代目の頼次公が天正十年明智光秀軍に五百の兵を連れ本能寺の変に加わった為城は落ち地方へ追われ十七年後徳川家康の小姓となり関ヶ原の戦いで勝利し旧領を安堵された。又新しい城作りを願い出て、一六〇二年より十三年かけて一六十五年完成し地黄陣屋として明治の世まで続いた。地方の旗本四千石であり乍ら大奥の局、近江の局と尾上の局と二人も輩出していることから徳川家にいかに信頼されていたかの証である。現在は廃校になった学校の跡地となっているが、当時の石垣は今も堂々とその姿を誇っている。一方頼国

より百三十年後高頼が能勢の野間に入り野間城を築いたのが一六八年の事である。高頼から盛次まで十数代能勢氏と行動を共にして来たが、関ヶ原、大阪冬、夏の陣では互いに対立することになった。二十三代頼之の頃京都二条殿に奉仕、二十五代の子野間幾子の末娘節子(さざこ)がのちの大正天皇の妃貞明皇后であり、昔住んでおられた地に、野間家発祥の碑が建っている。



地黄陣屋の石垣

### 京阪ブロック

#### やさしい街づくり (寝屋川市)

今回は「やさしい街づくり」について紹介させていただきます。従来、障害者は、行政に対しての要望交渉等などは障害福祉課を通

して長年やってまいりました。障害者問題に関してはそれなりに打合せが出来たのですが、それ以外の問題については、その関係機関に直接話ができなかった為、関係者が一堂に介しての会議が持てないかと運動を始めました。当初は中々行政も忙しいという理由で首を縦に振りませんでした。この会議は私達障害者が生活していくには絶対に必要だと思い粘り強く交渉した結果、平成21年、第一回の会議をする運びとなり今年で9回目を迎えました。今までの成果として視覚では音声信号、点字ブロック、チャイム、地デジラジオなど、聴言では手話通訳奉仕員の要請研修、肢体では道路補装、ミラー設置など着実に成果が現れています。私達障害者が地域で安心して生活していく為にこれからも頑張っていきたいと思えます。

### 東ブロック

#### 東ブロックスポーツ

#### レクリエーション大会

(東大阪市)

10月14日 東ブロックスポーツレクリエーション大会が東大阪市身体障害者福祉協会の主催で行なわれました。今回は第五〇回記念大会と銘打って準備致しました。折りしも本年は東大阪市が三市

(枚岡、河内、布施市)の合併により誕生して五〇年目にあたり会場であるアリーナでは記念の行事が数多くあり会場の確保に大変でした。五〇回大会ですから多数の参加者を予定していましたが、松原市が本年より脱会となり、又、各市の会員の減少等により、250人程の参加となりました。当日は東大阪市長始め本庁を上げてお祝いにかけて下さり無事に開催することができました。



大玉ころがし

当日は、八尾市、柏原市、地元東大阪市の会員が集い体力向上のため競技を喜々として競いました。有意義な一日でした。

### 河南ブロック

#### 大阪狭山市身体障害者の 主な活動事業について

(大阪狭山市)



(1) 在宅障害者一泊研修会は年一回行われます。

平成29年度は、福井県小浜方面へ1泊2日の研修旅行に行きました。

○1日目は若狭三方縄文博物館を見学しました。

紀元前2000年の縄文時代の人々の生活を知ることができました。

○2日目は美方原子力PRセンターを見学しました。原子力発電所内を見学できれば

よかったです。現在場内の見学は禁止になっておりますので、原子力P Rセンターで原子力発電のしくみ、安全対策の取り組み等について映像をみながら全体的な説明をしていただきました。

(2)ふれあいスペース、サロンさやまについて  
身体障害をお持ちの方が集える場所作りを行っています。障害があるという同じ立場にあるもの同士がお互いの経験や思いを共有する場として、「一度きてみなはれ」を呼びかけ言葉として、奇数月の第3土曜日の1時～3時(原則)に実施しています。

(3)カラオケを通じ親睦を深める目的としてさやま身体障害者カラオケクラブを結成し楽しんでいきます。

**第37回近プロ福祉大会・第19回相談員研修会開催**

日身連近畿ブロック福祉大会及び相談員研修会が、10月20日(金)、国際障害者交流センター(ビッグ・アイ)において開催されました。府身協からは88人が参加し、近畿各府県市から約500人が出席しました。

午前の福祉大会は、近畿ブロッ

ク連絡協議会会長や主管団体の挨拶で開会。堺市長をはじめとした来賓祝辞の後、議事へと進み、前年度決議事項の処理報告の承認、大会宣言、大会決議を採択しました。

午後からの相談員研修会では、厚生労働省地域生活支援推進室相談支援専門官 大平眞太郎氏による「我が事・丸ごと 地域共生社会実現に向けた取組みの推進について」をテーマに講演がありました。

少子高齢化・人口減少、多様化・複雑化・一般化するニーズ、社会構造の変化等についての説明と我が事・丸ごとの地域づくりへの取組状況等について説明があり、会場から質疑も活発に行われ、今後の活動に有意義な研修会となりました。

**ヘルプマークについて**

ヘルプマークとは、援助や配慮を必要としている方が、周囲の方に配慮を必要とすることを知らせることで、援助を得やすくなるよう作成されたマークです。

大阪府では、平成29年6月から市町村で配布を開始し、オール大阪による啓発を進めています。

○対象者

義足や人工関節を使用している方、内部障がいや難病の方、妊娠初期の方など、援助や配慮を必要としている方



○このマークを見かけたら電車で席をゆずる、困っているようであれば声をかける等、思いやりのある行動をお願いします。

**大臣表彰おめでとうキャンペーン**

府身協の竹川康文副会長(河内長野市身障会会長)には、障害者福祉の推進に永年尽力した功績により、更生援護功労者として厚生労働大臣表彰を昨年12月5日に受賞されました。  
心よりお祝い申し上げますとともに、今後のより一層の活躍を期待します。

**府身協からのお知らせ**

- ・平成30年新年交礼会  
日時 平成30年1月13日(土)  
場所 谷町福祉センター
- ・広報委員会  
日時 平成30年3月1日(木)  
場所 府身協事務室

※第40号の原稿締め切りは、2月23日(金) 必着です。

- ・平成29年度第2回評議員会  
日時 平成30年3月22日(木)  
場所 谷町福祉センター
- ・グラウンドゴルフ大会  
日時 平成30年3月25日(日)  
場所 ファインプラザ大阪

※10月29日に開催予定でしたが、台風接近のため延期しました。なお、大会のため、参加人数を調整することがあります。

- ・第63回日本身体障害者福祉大会  
日時 平成30年6月13日(水)～14日(木)  
場所 高崎市

※詳細は、決まり次第単位会にお知らせします。

**大阪府新規採用職員研修「福祉介助の実習」講師募集**

毎年4月に実施されています。標記研修では、車いすの介助の説明と実習を行っています。その講師として車いす常用者の方を募集していますので、ご協力をお願いします。